

2019年6月8日

関係各位

日本学生トランポリン競技連盟

会 長 伊藤 直樹

委員長 佐藤 昭斗

第54回 全日本学生トランポリン競技選手権大会 開催要項

1. 大会名 第54回全日本学生トランポリン競技選手権大会
2. 主催 日本学生トランポリン競技連盟
3. 後援 北見市（依頼中）、北見市教育委員会（依頼中）
北見市体育協会（依頼中）
4. 期 日 2019年8月23日（金）～25日（日）
5. 会 場 北海道立北見体育センター
〒090-0061
北海道北見市東陵町27番地
TEL. 0157-23-3131
6. 競技種目 ①個人競技 男女各A, B, Cの3クラス
②シンクロナイズド競技（以下、「シンクロ競技」とする。）
男女各A, Bの2クラス
③団体競技 男女各A, B, Cの3クラス
3～4名でチームを編成し、規定演技上位3名、自由演技上位3名の予選得点を合算して順位を決定する。参加は男女ともに各大学各クラス1チームのみとする。
④大学対抗戦 下表により参加大学ごと合計得点を算出し、総合順位を決定。

大学対抗戦ポイント表（個人競技、シンクロ競技、団体競技）

クラス／順位	1	2	3	4	5	6
A	40	35	30	25	20	15
B	20	17	14	12	10	8
C	10	8	6	4	2	1

※大学対抗戦については選手5人以上参加の大学は必ず参加してください。

※選手が5人に満たない大学も申し込みをすれば参加可能です。

7. 参加資格 次の3つの事項をすべて満たしている者のみ出場できる。
- (1) 2019年度の日本体操協会 会員登録管理システム(JGA-WEB)への登録を完了していること。
 - (2) 2019年度の学生連盟への選手登録が完了していること。
 - (3) 出場回数が、本大会を含め4回を超えないこと。
8. 競技方法 トランポリン採点規則 2017年版に準じて行う。ただし、本大会の特別採点規則を一部適用とする。
- 個人競技について、Aクラス予選は※第一自由演技、第二自由演技を行い、B、Cクラス予選は※規定演技、自由演技を行う。
- シンクロ競技について、Aクラス予選は※第一自由演技、第二自由演技を行い、Bクラス予選は自由演技1回のみを行う。また、インターカレッジの大会趣旨に基づき、**他大学間ペアによる出場を不可とする**。※跳躍時間点とシンクロ競技の同時性に関しては FIG 公認の測定器を用いて採点を実施する。
- 決勝は、各競技・クラスともに予選得点の低い順に自由演技のみを行い、決勝得点で順位を決定する。
- 予選の出場者数に基づき、決勝進出者数を次のように定める。
- 13名(ペア)以上の場合、10名(ペア)
- 9-12名(ペア)の場合、8名(ペア)
- 8名(ペア)以下の場合、6名(ペア)が決勝進出
- ただし、シンクロ競技において、出場者数が6ペア以下の場合は、予選は行わず、決勝のみで順位を決定する(大学対抗戦のポイントは順位通り入る)。
- シンクロ競技で出場するクラスは、個人競技と同一でなければならず、シンクロ競技のみの参加はできない。なお、シンクロ競技に出場するペアは試合着の色・素材等の統一を徹底すること。
- なお各競技部門で1人または1チームでも参加があれば競技とみなす。
- ※Aクラス第一自由演技及び、B・Cクラス規定演技に関しては別紙参照。

◆日本学生連盟制定の特別ルール

○個人競技Bクラスについて

→難度点を6.9までとする。

○個人競技Cクラスについて

→難度点を3.9までとする。

○シンクロ競技Bクラスについて

→難度点を4.5までとする。

9. 難度基準	個人競技	Aクラス：制限なし Bクラス：6.9以下 Cクラス：3.9以下
	シンクロ競技	Aクラス：制限なし Bクラス：4.5以下

※難度点が制限を越えた場合は各クラスの最高限度点とする。

※危険回避のため、クラスの選択、演技構成は、監督・コーチなどと十分相談の上、決定すること。

10. 表彰

個人・シンクロ・団体競技	賞状	1位～6位
	メダル	1位～3位
	カップ	Aクラス優勝者(持ち回り)
大学対抗戦	盾	B・Cクラス優勝者
	賞状	1位～3位
	カップ	1位(持ち回り)

※藤田敢闘賞(若干名) 賞状・副賞

大学からトランポリン競技を始め、個人競技において優れた成績を収めた選手の努力と成果(敢闘)を称えることを目的とする。

※優勝杯はAクラス及び大学対抗戦でのみの持ち回り制とします。

BCクラスに関しましては盾を授与します。次回大会での返還は不要です。

11. 第56回全日本選手権出場枠に関して

本大会は第56回全日本選手権の予選会となっております。詳細は以下のサイトからご参照ください。

https://www.jpn-gym.or.jp/trampoline/wp-content/uploads/sites/4/2019/04/TRA_56th_TGNC_Qualification.pdf

12. 参加費	個人競技	1人	3,500円
	シンクロ競技	1ペア	4,000円
	団体競技	1チーム	5,000円
	大学対抗戦	1大学男女各	5,000円

※個人競技の参加料には保険料が含まれている。

13. 参加申込 日本学生トランポリン競技連盟 HP より、申込ファイルをダウンロードしてください。所定のファイルに必要事項を入力し、メールにてお申し込みください。

なお、参加費は下記の指定口座に、締切日までに振り込んでください。申込み後の出場取り消しによる返金は、いかなる場合も行いませんので、予めご承知おきください。

14. 送付先

trampoline.gakuren@gmail.com

15. 締め切り 2019年7月19日(金)

※締切期限を過ぎた場合は参加を受け付けない。

16. 振込先 日本学生トランポリン競技連盟

会計 浅見 杏樹

三菱UFJ銀行 目白支店

店番 641 普通 口座番号 4553454

※振込人名義は大学名とし、大学名の前に(サ)をつけてください。

※学連登録費とは振込先が異なるのでご注意ください。

17. 使用器具

今大会においては、FIG認定器具ユーロトランポリン(4mm×4mmテープベッド)を使用します。

平成 30 年 6 月 17 日

各クラスの規定内容

A クラス

次の要求を満たす演技を第一自由演技として行う。

1. それぞれ最低 270 度 (3/4 回) の宙返りを伴う、異なる 10 種目からなる演技であること。
2. 競技カードに*印をつけた 4 種目の難度点は演技点に加算され、第一自由演技の合計得点が算出される。
3. これらの 4 種目は予選の第二自由演技において、繰り返し行うことはできない。さもなければ (もし繰り返した場合は)、難度点に加算されない。

[注意]

2.にある*印をつけた種目で種目変更があった場合、変更された種目の難度点が有効となり、難度点に算入される。

B クラス

1. 演技は 270 度以上の宙返りで構成しなければならない。
ただし難度のないフィートバウンスを 1 本使用することができる。
 2. 演技は異なる 10 種目で構成しなければならない。
 3. 少なくとも 1 種目は背または腹からの種目を使用しなければならない。
 4. 360 度以上の捻りを伴う種目を使用しなければならない。
- 3 と 4 の要求を兼ねる事は出来ない

C クラス

規定演技は下記の順番通りに行わなければならない。途中で異なる種目を実施した場合には中断となる。

- ① フルシート
- ② スイブル
- ③ ハーフスタンド
- ④ タックジャンプ
- ⑤ ハーフフロント (L)
- ⑥ ハーフターンテーブル
- ⑦ スタンド
- ⑧ ストラドルジャンプ
- ⑨ バックドロップ
- ⑩ スタンド

※Cクラス規定の5.ハーフフロント(L)は、競技規定上姿勢の指定はできないものであるが、選手の技の発展のため、特別に姿勢を指定する。